

市民会館うらわが 浦和駅西口南高砂再開発ビルへ

さいたま市は、浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業で建設するビルに、市民会館うらわを機能移転する方針を決めた。再開発ビルへの機能移転は事業費が大きくなるが、現在地より浦和駅に近くなることで、利便性の向上や文化発信力の強化、周辺商店街の活性化、駅周辺のにぎわい創出による都市機能の向上などの効果が期待できる。同会館は、耐震補強が必要で、現地建て替えか移転新築かが検討されていた。文化芸術等の発信拠点としての市民会館うらわの跡地利用についても、併せて検討していく必要がある。



小柳よしふみの地域活動



浦和区防災ボランティアネットワークでの防災講習会の講師



市民広場にて国際ふれあいフェア開催



ヴィーナスカップ女子サッカー大会



笑顔があふれる岸町尚齢会



六町合同運動会に参加



子どもがつくる街ミニ浦和

みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

ご来場をお待ちしております！

第26回市政報告会

浦和パルコ 10F

日時: 平成29年11月19日(日)

18:30~19:45

会場: 浦和コミュニティセンター
第14集会室

入場無料



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2017.11 vol.27

2020東京オリンピック・ パラリンピックまで1000日! ～大きなチャンスは街の飛躍のために～

朝夕は肌寒く感じる日も多くなりました。暦の上では冬を迎える時期となりましたが、皆さまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか？

10月には突然の衆議院の解散があり、総選挙も行われました。短期間で様々な動きがあり、困惑した中での投票という方もいらしたのではないのでしょうか。地方議員はどうするのかということ聞かれます。私は、自分が立候補する際にお示した政策や会派のマニフェストを忠実に実行していくことが大事だと思っています。また、市民生活の中で生じる地域の課題について、誠実に取り組んでまいります。

さて、9月7日に開会した9月定例会は、10月20日に閉会いたしました。本定例会では、昨年度の決算審査が行われました(詳細中面)。大切なことは、決算審査で指摘された事項を、その後いかに反映できるかということです。予算委員として、しっかりと予算審査に生かしてまいります。

10月28日で東京オリンピック・パラリンピックまで1000日となりました。行政の事業遂行にあたっては、発信力や影響力のあるこのイベントは、大きな節目となります。このチャンスを上手く活用して、例えば街のバリアフリー化やスポーツ環境の強化改善など、オリンピックレガシーを街の飛躍につなげて行くよう取り組んでいくことが重要だと考えます。

これから日に日に寒さも増してくる時期です。皆さま方におかれましては、ご健康に十分にご留意され、お過ごしいただきますよう、お祈り申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年 浦和区にて第1位当選(2期目)。
- まちづくり委員会 / 予算委員会 理事
オリンピック・パラリンピック競技大会支援特別委員会
病院建設工事調査特別委員会
議会広報編集委員会



毎月第3日曜16時から浦和駅東西口駅頭でお伝えしています。

TOPICS

平成28年度 一般会計 決算は認定



平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算、水道事業会計と下水道事業会計の決算は認定された。病院事業会計決算は、継続審査となっている。
(詳細 中面)

新副市長に 高橋氏、 松本氏が就任



新副市長に高橋篤氏(元本市都市戦略本部長他)、松本勝正氏(国土交通省より出向、本市技監)が就任。7月退任の本間副市長、10月退任の遠藤副市長の後任となる。

本市の高齢化率は、 22.64%



さいたま市の高齢化率(65歳以上人口の割合)は、22.64%(10月1日現在)であった。埼玉県25.0%(9月1日現在)、全国27.7%(1月1日現在)。本市は、比較的高齢化率は低い傾向。高齢化率区別は、1位岩槻区、2位西区、3位見沼区。浦和区は9位で20.53%。最も低いのは南区で18.96%。本市最高齢は、108歳の女性がお二方。

平成28年度さいたま市一般会計決算報告

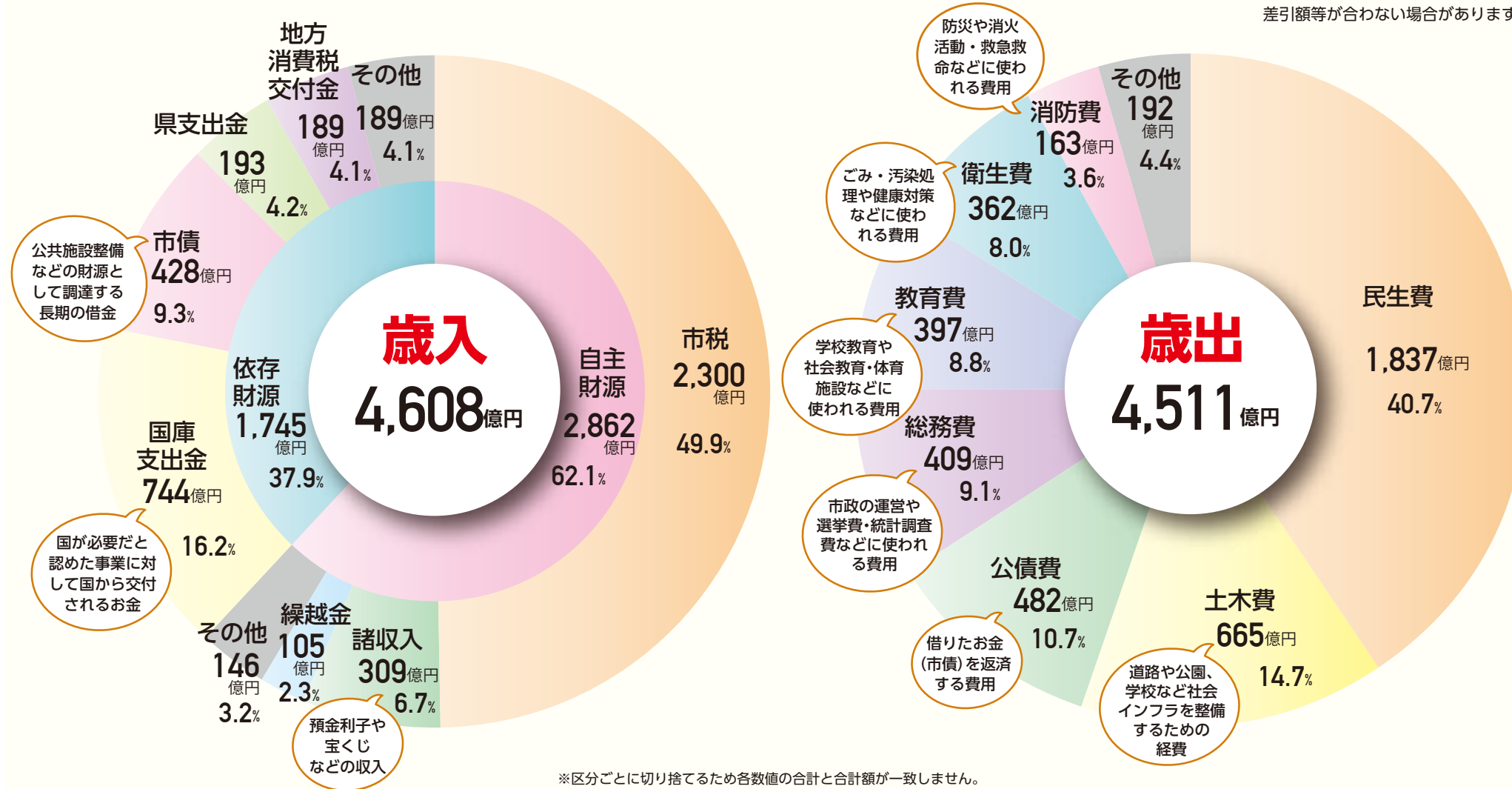
決算のポイント

- さいたま市誕生以来、歳出決算額は最大規模
- 実質収支額は、23億81百万円で連続して黒字
- 歳入は、市税収入が前年度比41億89百万円、1.9%増
- 歳出は、民生費、教育費が増加

<表1>

区 分	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
① 予算現額	4927.0 億円	4773.8 億円	153.2 億円	3.2 %
② 歳入決算額	4608.6 億円	4585.3 億円	23.2 億円	0.5 %
③ 歳出決算額	4511.8 億円	4479.8 億円	32.0 億円	0.7 %
④ 歳入歳出差引額(②－③)	96.8 億円	105.5 億円	▲8.7 億円	▲8.3 %
⑤ 翌年度へ繰り越すべき財源	73.0 億円	52.9 億円	20.0 億円	37.8 %
⑥ 実質収支額(④－⑤)	23.8 億円	52.5 億円	▲28.7 億円	▲54.7 %
⑦ 前年度実質収支額	52.5 億円	58.9 億円	▲6.3 億円	▲10.7 %
⑧ 単年度収支額(⑥－⑦)	▲28.7 億円	▲6.3 億円	▲22.4 億円	-

※金額については億単位のため
差引額等が合わない場合があります。



【9月定例会から】

本定例会においては、決算関連議案の他、美園地区小学校・中学校新築工事関連工事請負契約議案やさいたま新都心バスターミナル事業等の補正予算議案が可決された。公営事業会計のうちの病院事業会計は、病院建設工事調査特別委員会の審査中ということもあり、継続審査となった。



本市の財政状況は、実質公債費比率、将来負担比率などの健全化判断比率から健全財政を維持していると判断して良い。歳入における市税収入の増加は、個人市民税の増(26億70百万円、1.6%)、固定資産税の増(16億13百万円、2.0%)、都市計画税の増(2億72百万円、1.6%)による。これは、人口増による納税義務者の増加による。法人市民税は税制改正の影響による減額(－5億8百万円、－2.3%)。教育

費の増加は、小学校・中学校の新設に伴うもの。民生費の増加は、福祉関係の給付事業の増加と保育環境整備関連事業によるもの。民生費の増加傾向は続くことが予想される。今後はこの他、大宮、浦和、美園などのまちづくり事業など、再開発事業や遅れている都市基盤整備の事業費が必要になってくる。したがって、歳入確保のための積極的な取り組みと、公園や学校施設等の公共施設の新設、維持管理における民間力の活用を推進する必要がある。

まちづくり委員会から

藤右衛門川の浸水被害対策について



Q 昭和51年の水害で激震災害指定を受けた後、現在も浸水被害が度々起こっている。市民の不安を払しょくするためにも早急な対策を求めたい。

A さいたま市と埼玉県の間管理境の箇所、河床が高くなっており、水流を妨げている影響がある。また、その段差によって土砂などが堆積する原因ともなっている。市の管理部分についての改修は終え、また予算付けもしているが、県の対応が未定の状況である。今後、早期に現実的な対応が取れる手法の検討も含めて、県との協議を進めて早期の解決に努めたい。



大雨の予報があるたびに、周辺住民は不安な時を過ごし、実際に浸水被害も生じている。市としては、水流を円滑にするための河床の堆積物の浚渫(しゅんせつ)作業に毎年数千万円をかけている。早期の埼玉県の対応を求めている。

予算委員会から

新都心バスターミナル土地購入予算について



一般会計補正予算議案においては、保育士確保のための宿舎の借り上げについての補助や、就学援助制度における新入学用品費の引き上げ、中学入学予定児童の保護者に対する入学準備金を入学前に支給するための予算、また、さいたま新都心駅近くに東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた長距離バスターミナルの暫定整備のための土地取得予算などを内容とした予算議案などが承認されました。



入学準備金などが入学前に支給されるようになることは、保護者にとって助かる制度改善であると考えます。また、さいたま新都心のバスターミナル用地の購入に関して、競技会場になっている本市には、遠方からの観戦客も見込まれる。本市が国際観光都市としての成長を図るためにも重要な拠点となる。所管課が目的を持って購入する予算であるから、バスターミナルとしての機能を十分に果たせるような事業の推進と説明がなされるべきである。